

年 11 月 9 日, プログラムおよび演題抄録集: 8 頁, 2019.

- 44) 都野隆博, 高橋直紀, 原 実生, 竹内麻衣, Benso Sulijaya, 野中由香莉, 松岸 葵, 多部田康一, 山崎和久: 嚥下された歯周病原細菌 *Porphyromonas gingivalis* が炎症性腸疾患に及ぼす影響の解析. 令和元年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2019 年 11 月 9 日, プログラムおよび演題抄録集: 8 頁, 2019.
- 45) 金子千尋, 小林哲夫, 杉田典子, 吉江弘正: 関節リウマチ患者におけるカルバミル化タンパクおよび好中球細胞外トラップの血清レベルと歯周炎との関連. 令和元年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2019 年 11 月 9 日, プログラムおよび演題抄録集: 9 頁, 2019.
- 46) 羽賀健太, 山崎学, 丸山智, 鈴木絢子, 干川絵美, 船山昭典, 三上俊彦, 小林正治, 泉健次, 田沼順一: がん関連線維芽細胞は口腔扁平上皮癌において SOX9 発現を増強させ浸潤を促進する. 令和元年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2019 年 11 月 9 日, プログラムおよび演題抄録集: 12 頁, 2019.

【受賞】

- 1) 都野隆博: *Porphyromonas gingivalis* 口腔投与による実験的腸炎モデルマウスへの影響の解析. オーラルサイエンス研究会優秀発表賞. 第 3 回オーラルサイエンス研究会, 長岡, 2019 年 11 月 9 日.

【その他】

- 1) 久保田健彦: 原因から考える治療戦略—歯周治療における SPT—. 福島県歯科医師会学術講演会, 郡山, 2019 年 4 月 7 日.
- 2) 小林哲夫: 歯周病と関節リウマチ—リウマチ治療への影響—. 第 12 回埼玉 Biologics 研究会, さいたま, 2019 年 6 月 1 日.
- 3) 多部田康一: 宿主応答から見た歯周炎病因論. 歯周治療のコンセンサス・ミーティング, 東京, 2019 年 7 月 27 日.
- 4) 野中由香莉, 原 実生, 竹内 麻衣, 松岸 葵, 都野隆博, 高橋直紀, 山崎和久, 多部田康一: 歯周病原細菌感染モデルマウスにおける脂質代謝への TRPV1 チャンネルの関与. 第 3 回オーラルサイエンス研究会, 長岡, 2019 年 11 月 9 日.
- 5) 都野隆博, 高橋直紀, 竹内麻衣, 原 実生, 多部田康一, 山崎和久: *Porphyromonas gingivalis* 口腔投与による実験的腸炎モデルマウスへの影響の解析. 第 3 回オーラルサイエンス研究会, 長岡, 2019 年 11 月 9 日.

- 6) 多部田康一: 歯周病学・歯周治療学の現在と今後. 大宮歯科医師会学術講演会, 大宮, 2020 年 2 月 1 日.

歯科矯正学分野

【著書】

- 1) 後藤滋巳, 齋藤 功, 田中栄二, 榎宏太郎, 宮澤健, 本吉 満, 森山啓司 編著: 「症例でわかる 歯科矯正用アンカースクリュー活用術」, 全 364 頁, 医歯薬出版, 東京, 2019.
- 2) 丹原 惇, 齋藤 功: アンカースクリューを用いて最大の固定による上顎前突を改善した症例. 症例でわかる 歯科矯正用アンカースクリュー活用術 (後藤滋巳 他編), 109-115 頁, 医歯薬出版, 東京, 2019.
- 3) 丹原 惇, 齋藤 功: アンカースクリューを用いて最大の固定による叢生を伴う歯性上下顎前突の改善を行った症例. 症例でわかる 歯科矯正用アンカースクリュー活用術 (後藤滋巳 他編), 247-253 頁, 医歯薬出版, 東京, 2019.
- 4) 丹原 惇, 齋藤 功: 上顎第二小臼歯を抜去しアンカースクリューを用いて最大の固定により叢生を改善した症例. 症例でわかる 歯科矯正用アンカースクリュー活用術 (後藤滋巳 他編), 254-260 頁, 医歯薬出版, 東京, 2019.
- 5) 丹原 惇, 齋藤 功: アンカースクリューを用いて片側下顎第三大臼歯の近心移動を行った症例. 症例でわかる 歯科矯正用アンカースクリュー活用術 (後藤滋巳 他編), 261-267 頁, 医歯薬出版, 東京, 2019.
- 6) 齋藤 功: 筋機能療法 (MFT) について. 歯科審美学 (一般社団法人日本歯科審美学会編), 66-69 頁, 永末書店, 東京, 2019.
- 7) 齋藤 功: エッジワイズ法の基本を知り、未来を語ろう—管理指導医の立場から. 臨床家のための矯正 YEAR BOOK 2019 (北峯康充 編), 182-185 頁, クインテッセンス出版, 東京, 2019.

【論文】

- 1) Nagai T, Trakanant S, Kawasaki M, Kawasaki K, Yamada Y, Watanabe M, Blackburn J, Otsuka-Tanaka Y, Hishinuma M, Kitatamura A, Meguro F, Yamada A, Kodama Y, Maeda T, Zhou Q, Saijo Y, Yasue A, Sharpe PT, Hindges R, Takagi R, Ohazama A: The microRNAs control eyelid development through

- regulating Wnt signaling. *Dev Dyn*. 2019 Mar; 248(3):201-210, 2019.
- 2) 2)Takahashi D, Ikeda J, Nihara J, Takahashi K, Oomori Y, Kawai M, Mitsumata T: Concentration Dependence of Zeta Potential and Electric Properties for Sacran and Xanthan Gum Aqueous Solutions. *Acta Scientific Microbiology* 2(7): 36-40, 2019.
 - 3) Kurihara K, Fukui T, Sakaue K, Hori K, Ono Takahiro, Saito I: The effect of tongue thrusting on tongue pressure production during swallowing in adult anterior open bite cases. *J Oral Rehabil* 46: 895-902, 2019.
 - 4) Trakanant S, Nihara J, Kawasaki M, Meguro F, Yamada A, Kawasaki K, Saito I, Maeda T, Ohazama A: Molecular mechanisms in palatal rugae development. *J Oral Bioscience* 62(1): 30-35, 2020.
 - 5) Nakata J, Akiba Y, Nihara J, Thant L, Eguchi K, Kato H, Izumi K, Okura M, Otake M, Kakihara Y, Saito I, Saeki M: ROCK inhibitors enhance bone healing by promoting osteoclastic and osteoblastic differentiation. *BBRC* 526(3): 547-552, 2020.
 - 6) 長谷部大地, 高橋功次郎, 加藤祐介, 齋藤大輔, 丹原 惇, 新美奏恵, 片桐 渉, 齋藤 功, 小林正治: 日本人における Index of Orthognathic Functional Treatment Need (IOFTN) の有用性についての検討-第2報: 外科的矯正治療と矯正歯科治療のボーダーライン-. *日顎変形誌* 29(4): 289-294 頁, 2019.
 - 7) 市川佳弥, 丹原 惇, 朝日藤寿一, 宮田昌幸, 親松 宏, 児玉泰光, 新美奏恵, 高木律男, 小林正治, 齋藤 功: 新潟大学医歯学総合病院において PNAM 治療を行った片側口唇口蓋裂患児における外鼻形態変化の短期的評価. *日口蓋誌* 44(3): 182-191 頁, 2019.
 - 8) 阿部 遼, 坂上 馨, 福井忠雄, 深町直哉, 林孝文, 齋藤 功: 超音波診断装置を用いた骨格性下顎前突症患者の嚥下時舌運動様相の検討. *日顎変形誌* 29(3): 229-236 頁, 2019.
 - 9) 深町直哉, 坂上 馨, 栗原加奈子, 阿部 遼, 小野高裕, 齋藤 功: 全自動解析装置を用いた骨格性下顎前突症患者における咀嚼能力と顎顔面形態との関連. *日顎変形誌* 29(3): 237-246 頁, 2019.
 - 10) 井表千馨, 福井忠雄, 小栗由充, 小田陽平, 池田順行, 児玉泰光, 小林正治, 齋藤 功: 新潟大学医歯学総合病院矯正歯科における最近 14 年間の歯科矯正用インプラントアンカー (仮称) の使用状況調査. *甲北信越矯歯誌* 27(1): 37-44 頁, 2019.
 - 11) 長谷部大地, 高橋功次郎, 遠藤 愉, 竹内奈苗, 羽賀健太, 荻野奈保子, 竹内涼子, 原 太一, 加藤祐介, 齋藤大輔, 丹原 惇, 新美奏恵, 片桐 渉, 齋藤 功, 小林正治: 日本人における Index of Orthognathic Functional Treatment Need (IOFTN) の有用性についての検討 -第1報-. *日顎変形誌* 29(1): 5-10 頁, 2019.
 - 12) 坂上 馨, 栗原加奈子, 深町直哉, 阿部 遼, 堀一浩, 小野高裕, 齋藤 功: 骨格性下顎前突症患者の顎矯正手術後における嚥下時舌圧発現様相の解析. *日顎変形誌* 29(1): 42-50 頁, 2019.
 - 13) 石井一裕, 吉澤真由美, 古里美幸, 林田拓也, 石井進子, 松本成雄, 竹山雅規: 当院における埋伏歯に対する治療法および考え方. *日本矯正歯科協会学術雑誌* 7(1): 21-40 頁, 2019.
- 【研究費獲得】**
- 1) 齋藤 功, 丹原 惇, 高橋功次郎: ジェネレーティブデザインを応用した顎偏位形態予測と顎偏位軽減治療システムの確立. 令和元年度科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) 基盤研究 (C) : 17K11935, 2018.
 - 2) 竹山雅規, 齋藤 功, 丹原 惇, 高橋功次郎: 矯正-呼吸器内科連携による閉塞性睡眠時無呼吸発症・重症化リスク予測システムの開発. 令和元年度科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) 基盤研究 (C) : 17K12042, 2018.
 - 3) 上村 藍太郎: 内因性カンナビノイド (2-AG) が関わる鎮痛作用の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 17H06693, 2018.
 - 4) 北見公平: 矯正力に対する歯根膜の部位特異的な組織応答メカニズムの解明. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 19K19288, 2019.
 - 5) 中田樹里: 矯正学的歯の移動を促進する ROCK (Rho キナーゼ) 阻害剤の作用機序の解明. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 19K19263, 2019.
 - 6) 大倉麻里子: TRPV1 に着目した矯正歯科治療時の疼痛メカニズムと歯槽骨吸収の解明. 平成 31 年度科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) 若手研究, 18K17251, 2019.

- 7) 高橋功次郎：口唇閉鎖機能の定量化による新治療目標への臨床応用。日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究(B), 17K17319, 2017.
- 8) 坂上 馨：顎変形症に対する Visual feedback を応用した新規筋機能療法の開発。平成 30 年度科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）若手研究, 18K17220, 2018.
- 9) 大森裕子：安全な歯科治療のためのレオロジー-超音波で硬化を操る印象方法の開発-。平成 30 年度科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）若手研究, 18k17279, 2018.
- 8) 齋藤 功, 田中栄二：シンポジウム4「外科的矯正治療後の顎口腔機能改善を目指した訓練法」モデレーター。第 29 回日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2019 年 6 月 8 日-9 日, 日顎変形誌 29(2) : 129-137 頁, 2019.
- 9) 丹原 惇, 齋藤 功：口唇裂・口蓋裂症例に対する治療プロトコールとエビデンス-新潟大学歯学総合病院における治療体系の変遷-。シンポジウム3「口唇裂・口蓋裂治療におけるエビデンスの在り方を考える-矯正歯科医の視点から-」。第 43 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 新潟, 2019 年 5 月 30 日-31 日, 日口蓋誌 44(2) : 51 頁, 2019.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Abe R, Sakae K, Fukui T, Saito I: An investigation on tongue movement during swallowing in patients with mandibular prognathism using ultrasonography. TAO 32nd Annual Meeting & 8th Resident Meeting, Taichung, Taiwan, December 6-8, 2019.
- 2) 齋藤 功：外科的矯正治療を施行した顎変形症患者における美的調和の獲得。アドバンスセミナー「審美性に配慮した外科的矯正治療」, 日本歯科審美学会第 30 回学術大会, 東京, 2019 年 11 月 30 日-12 月 1 日, 2019.
- 3) 齋藤 功：矯正歯科治療における抜歯の必要性と判断基準-治療例をとおして考える-。シンポジウム2「あなたの抜歯の考え方は?」。第 78 回日本矯正歯科学会学術大会, 長崎, 2019 年 11 月 20 日-22 日, 抄録集: 90 頁, 2019.
- 4) 齋藤 功：多職種連携によるアウトカム評価の重要性と多施設共同研究の必要性。口蓋裂学会合同シンポジウム2。第 64 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 札幌, 2019 年 10 月 25 日-27 日, 日口外誌 65 Supplement: 60 頁, 2019.
- 5) 齋藤 功：口唇裂・口蓋裂診療における多専門領域連携の現状と重要性について。関連領域学会～沿革&コアシンポジウム。第 62 回日本形成外科学会総会・学術集会, 札幌, 2019 年 5 月 15 日-17 日, 抄録集: 41 頁, 2019.
- 6) 齋藤 功：シンポジウム「不正咬合の早期治療」モデレーター。第 34 回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2019 年 7 月 7 日, 抄録集: 19-25 頁, 2020.
- 7) 高橋功次郎, 齋藤 功：上顎前突の早期治療。シンポジウム「不正咬合の早期治療」。第 34 回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2019 年 7 月 7 日, 抄録集: 20-21 頁, 2020.
- 10) 齋藤 功：口唇裂・口蓋裂診療における多専門領域連携の現状と重要性について。関連領域学会～沿革&コアシンポジウム。第 62 回日本形成外科学会総会・学術集会, 札幌, 2019 年 5 月 15 日-17 日, 抄録集: 41 頁, 2019.
- 11) 坂上 馨：「骨格性下顎前突症患者的顎矯正手術前後における嚙下時舌圧発現様相の解析」。シンポジウム。第 29 回日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2019 年 6 月 8 日-9 日, 抄録集: 132-133 頁, 2019.
- 12) 坂上 馨：「顎変形症患者における嚙下時舌動態と咀嚼能力の解析」。生涯研修セミナー。第 78 回日本矯正歯科学会学術大会, 長崎, 2019 年 11 月 20 日-22 日, 抄録集: 103 頁, 2019.

【学会発表】

- 1) Saito N, Hasebe D, Siato D, Sakuma H, Suda D, Niimi K, Katagiri W, Saito I, Kobayashi T: Assessment of risk factors for progressive condylar resorption after mandibular advancement. 58th Annual Meeting of Korean Association of Maxillofacial, Plastic and Reconstructive Surgery, Pusan, Korea, October 31-November 2, 2019.
- 2) Osawa K, Nihara J, Nishiyama H, Takahashi K, Honda A, Atarashi C, Takagi R, Kobayashi T, Saito I : Classification of 3-dimensional mandibular deviation using cluster analysis in patients with mandibular prognathism. 58th Annual Meeting of Korean Association of Maxillofacial, Plastic and Reconstructive Surgery, Pusan, Korea, October 31- November 2, 2019.
- 3) Fukamachi N, Sakae K, Kurihara K, Ono T, Saito I: Clinical investigation of masticatory performance in skeletal class III patients using a fully automatic measuring system. 95th European Orthodontic Society Congress, Nice, France, June 17-22, 2019.

- 4) Mizukoshi M, Kaku M, Kitami K, Uoshima K, Saito I: Characterization of Proliferating/Resting Cells in Periodontal Ligament during Orthodontic Tooth Movement. 95th European Orthodontic Society Congress, Nice, France, June 17-22, 2019.
- 5) 竹山雅規, 網谷季莉子, 丹原 惇, 高橋功次朗, 大島康義, 小林正治, 齋藤 功: 性別および年代別にみた閉塞性睡眠時無呼吸と顎顔面形態, BMI との関連. 第 18 回日本睡眠歯科学会総会・学術集会, 新潟, 2019 年 11 月 23 日-24 日, 睡眠口腔医学 6(1):77 頁, 2019.
- 6) 長谷部大地, 齋藤大輔, 遠藤 諭, 三上俊彦, 竹山雅規, 齋藤 功, 小林正治: 閉塞型睡眠時無呼吸症 (OSA) を伴う下顎前突症患者に対して顎矯正手術を行った 1 例. 第 18 回日本睡眠歯科学会総会・学術集会, 新潟, 2019 年 11 月 23 日-24 日, 睡眠口腔医学 6(1):96 頁, 2019.
- 7) 網谷季莉子, 竹山雅規, 丹原 惇, 高橋功次朗, 大島康義, 小林正治, 齋藤 功: 性別、年代別にみた閉塞性睡眠時無呼吸と顎顔面形態、BMI との関連性. 第 78 回日本矯正歯科学会学術大会, 長崎, 2019 年 11 月 20 日-22 日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 143 頁, 2019.
- 8) 大澤知朗, 丹原 惇, 西山秀昌, 高橋功次朗, 本多綾子, 新ちひろ, 高木律男, 小林正治, 齋藤 功: クラスタ分析を用いた骨格性下顎前突症患者における下顎骨偏位の検討. 第 78 回日本矯正歯科学会学術大会, 長崎, 2019 年 11 月 20 日-22 日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 152 頁, 2019.
- 9) 深町直哉, 坂上 馨, 栗原加奈子, 阿部 遼, 長崎 司, 小野高裕, 齋藤 功: 骨格性下顎前突症患者における咀嚼力能力と顎顔面形態との関係. 第 78 回日本矯正歯科学会学術大会, 長崎, 2019 年 11 月 20 日-22 日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 159 頁, 2019.
- 10) 水越 優, 加来 賢, 北見公平, 井田貴子, 新井萌生, 魚島勝美, 齋藤 功: 矯正歯の移動時のマウス歯根膜における増殖期細胞の局在と特性. 第 78 回日本矯正歯科学会学術大会, 長崎, 2019 年 11 月 20 日-22 日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 172 頁, 2019.
- 11) 北見公平, 水越 優, 新井萌生, 加来 賢, 齋藤 功: 矯正歯の移動時における 1 次繊毛を有する歯根膜細胞の局在. 第 78 回日本矯正歯科学会学術大会, 長崎, 2019 年 11 月 20 日-22 日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 179 頁, 2019.
- 12) 長崎 司, 福井忠雄, 栗原加奈子, 坂上 馨, 深町直哉, 阿部 遼, 堀 一浩, 小野高裕, 齋藤 功: 舌圧と顎顔面筋群の筋活動同時測定による嚙下運動解析法の有用性. 第 78 回日本矯正歯科学会学術大会, 長崎, 2019 年 11 月 20 日-22 日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 208 頁, 2019.
- 13) Supaluk T, Kawasaki M, Kawasaki K, Saito I, Ohazama A: MicroRNAs are involved in midfacial development. 第 78 回日本矯正歯科学会学術大会, 長崎, 2019 年 11 月 20 日-22 日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 281 頁, 2019.
- 14) Thant L, Kaku M, Mizukoshi M, Kitami K, Kakihara Y, Uoshima K, Saito I: Localization of type XII collagen and fibromodulin in periodontal ligament during orthodontic tooth movement. 第 78 回日本矯正歯科学会学術大会, 長崎, 2019 年 11 月 20 日-22 日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 286 頁, 2019.
- 15) 坂本輝雄, 岡安麻里, 佐々木会, 土持 宇, 長浜諒, 近藤 俊, 大西有理, 森 浩喜, 森下 格, 石井武展, 宮崎晴代, 須田直人, 須佐美隆史, 齋藤 功: Hemifacial macrosomia 患者に対するチーム医療における矯正治療の実態調査. 第 78 回日本矯正歯科学会学術大会, 長崎, 2019 年 11 月 20 日-22 日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 231 頁, 2019.
- 16) Sakamoto T, Okayasu M, Sasaki A, Tsuchimoto T, Nagahama R, Kondou S, Yamamoto Y, Mori H, Morishita T, Ishii T, Miyazaki H, Suda N, Susami T, Saito I: Survey of orthodontic and surgical treatment in team care for patients with Hemifacial macrosomia. The 9th Asian Pacific Cleft Lip –Palate & Craniofacial Congress, Kohn Kaen, Thailand, November 11th -12th, abstract book: 85-87, 2019.
- 17) 水越 優, 加来 賢, 北見公平, 新井萌生, 井田貴子, 魚島勝美, 齋藤 功: 矯正歯の移動時における歯根膜増殖記載帽の特性. 令和元年度第 2 回新潟歯学会例会, 新潟, 2019 年 11 月 9 日, 新潟歯学会雑誌 49(2): 84 頁, 2019.
- 18) Trakanant Supaluk, Kawasaki M, Kawasaki K, Saito I, Ohazama A: The role of microRNAs in murine mandibular development. 令和元年度第 2 回新潟歯学会例会, 新潟, 2019 年 11 月 9 日, 新潟歯学会雑誌 49(2): 85-86 頁, 2019.
- 19) 大澤知朗, 丹原 惇, 西山秀昌, 高橋功次朗, 本多綾子, 新ちひろ, 高木律男, 小林正治, 齋藤 功: 三次元 CT 画像を用いた骨格性下顎前突症患者における下顎骨偏位様相の検討. 令和元年度第

- 2回新潟歯学会例会, 新潟, 2019年11月9日, 新潟歯学会雑誌49(2): 88頁, 2019.
- 20) 原 太一, 齋藤大輔, 佐久間英伸, 新美奏恵, 小林正治, 丹原 惇, 齋藤 功: 非接触型3D画像撮影装置とCTを用いた顔貌三次元形態の比較検討. 令和元年度第2回新潟歯学会例会, 新潟, 2019年11月9日, 新潟歯学会雑誌49(2): 88頁, 2019.
- 21) 丹原 惇, 大森裕子, 三俣 哲, 川合巳佳, 高橋功次朗, 齋藤 功: 安全な歯科治療への挑戦: 物性を自在に操作できる印象法の開発. 砥粒加工学会学術講演会 ABTEC2019, さいたま, 2019年8月28日-30日, 2019年度砥粒加工学会学術講演会論文集: 163頁, 2019.
- 22) 深町直哉, 坂上 馨, 栗原加奈子, 阿部 遼, 長崎 司, 小野高裕, 齋藤 功: 全自動解析装置を用いた骨格性下顎前突症患者における咀嚼能力と顎顔面形態との関連. 令和元年度第1回新潟歯学会例会, 新潟, 2019年7月13日, 新潟歯学会雑誌49(2): 75頁, 2019.
- 23) 中田樹里, 齋藤 功: 下顎骨の軽度左方偏位を伴うAngle Class I 叢生症例. 第34回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟, 2019年7月7日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 44頁, 2019.
- 24) 大竹正紀, 齋藤 功: 過蓋咬合および叢生を伴うAngle Class III 機能性下顎前突症例. 第34回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟, 2019年7月7日, 同学会学術大会プログラム・抄録集: 45頁, 2019.
- 25) 長谷部大地, 高橋功次朗, 齋藤大輔, 佐久間英伸, 加藤祐介, 丹原 惇, 新美奏恵, 片桐 涉, 齋藤功, 小林正治: Index of Orthognathic Functional Treatment Needを用いた外科的矯正治療の適応におけるBorderlineの検証. 第29回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2019年6月8日-9日, 日顎変形誌29(2): 184頁, 2019.
- 26) 佐久間英伸, 長谷部大地, 新美奏恵, 加藤祐介, 齋藤大輔, 齋藤直朗, 荻野奈保子, 片桐 涉, 齋藤 功, 小林正治: 顎変形症患者における形態的不調和と咀嚼機能との関連の解明. 第29回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2019年6月8日-9日, 日顎変形誌29(2): 186頁, 2019.
- 27) 大澤知朗, 丹原 惇, 西山秀昌, 高橋功次朗, 本多綾子, 高木律男, 小林正治, 齋藤 功: 三次元CT画像を用いた骨格性下顎前突症患者における下顎骨偏位の様相について. 第29回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2019年6月8日-9日, 日顎変形誌29(2): 187頁, 2019.
- 28) 深町直哉, 坂上 馨, 栗原加奈子, 阿部 遼, 長崎 司, 小野高裕, 齋藤 功: 全自動解析装置を用いた骨格性下顎前突症患者における咀嚼能力の臨床的検討. 第29回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2019年6月8日-9日, 日顎変形誌29(2): 208頁, 2019.
- 29) 栗原加奈子, 福井忠雄, 坂上 馨, 長崎 司, 深町直哉, 堀 一浩, 小野高裕, 齋藤 功: 舌圧と顎顔面筋群の筋活動を指標とした嚥下運動解析方法の有用性. 第29回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2019年6月8日-9日, 日顎変形誌29(2): 210頁, 2019.
- 30) 丹原 惇, 内野夏子, 吉田章太, 朝日藤寿一, 石渡靖夫, 岩田敏男, 金高弘恭, 佐藤友紀, 谷川千尋, 中納治久, 春山直人, 真野樹子, 渡邊圭一郎, 齋藤 功: 矯正歯科領域の口唇裂・口蓋裂治療に関する資料採得の実態調査—第1報 資料採得環境について—. 第43回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 新潟, 2019年5月29日-31日, 日口蓋誌44(2)抄録号: 111頁, 2019.
- 31) 内野夏子, 丹原 惇, 吉田章太, 朝日藤寿一, 石渡靖夫, 岩田敏男, 金高弘恭, 佐藤友紀, 谷川千尋, 中納治久, 春山直人, 真野樹子, 渡邊圭一郎, 齋藤 功: 矯正歯科領域の口唇裂・口蓋裂治療に関する資料採得の実態調査—第2報 資料採得時期について—. 第43回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 新潟, 2019年5月29日-31日, 日口蓋誌44(2)抄録号: 111頁, 2019.
- 32) 吉田章太, 丹原 惇, 内野夏子, 朝日藤寿一, 石渡靖夫, 岩田敏男, 金高弘恭, 佐藤友紀, 谷川千尋, 中納治久, 春山直人, 真野樹子, 渡邊圭一郎, 齋藤 功: 矯正歯科領域の口唇裂・口蓋裂治療に関する資料採得の実態調査—第3報 共通プロトコル策定への意見—. 第43回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 新潟, 2019年5月29日-31日, 日口蓋誌44(2)抄録号: 112頁, 2019.
- 33) 近藤淳子, 塚田しげみ, 後藤早苗, 丹原 惇, 児玉泰光, 高木律男, 齋藤 功: 口唇裂・口蓋裂児に対する療育サポートミーティングにおける歯科衛生士の集団的口腔衛生指導の取り組み. 第43回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 新潟, 2019年5月29日-31日, 日口蓋誌44(2)抄録号: 118頁, 2019.
- 34) 結城龍太郎, 児玉泰光, Salazar Andrea Rei Estacio, 大湊 麗, 永井孝宏, 渡部桃子, 山田

茜, 市川佳弥, 丹原 惇, 飯田明彦, 小野和宏, 齋藤 功, 高木律男: 二段階口蓋形成術施行片側性唇顎口蓋裂患児の咬合評価 第1報 - 軟口蓋形成術式: Perko 法と Furlow 法での比較-. 第43回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 新潟, 2019年5月29日-31日, 日口蓋誌44(2)抄録号: 134頁, 2019.

- 35) サラザール アンドレア レイ エスタシオ, 児玉泰光, 結城龍太郎, 大湊 麗, 永井孝宏, 渡部桃子, 山田 茜, 市川佳弥, 丹原 惇, 飯田明彦, 小野和宏, 齋藤 功, 高木律男: 二段階口蓋形成術施行片側性唇顎口蓋裂患児の咬合評価 第2報 - 硬口蓋閉鎖時期: 5歳半と4歳での比較-. 第43回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 新潟, 2019年5月29日-31日, 日口蓋誌44(2)抄録号: 134頁, 2019.
- 36) 児玉泰光, 結城龍太郎, Salazar Andrea Rei Estacio, 大湊 麗, 永井孝宏, 渡部桃子, 山田 茜, 市川佳弥, 丹原 惇, 飯田明彦, 小野和宏, 齋藤 功, 高木律男: 二段階口蓋形成術施行片側性唇顎口蓋裂患児の咬合評価 第3報 - 術式と術期の異なる2群間での比較-. 第43回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 新潟, 2019年5月29日-31日, 日口蓋誌44(2)抄録号: 135頁, 2019.
- 37) 長谷部大地, 竹山雅規, 片桐 涉, 齋藤 功, 小林正治: 外科的矯正治療の適応基準と矯正治療単独とのボーダー症例の検討. 形成外科学会新潟地方会, 新潟, 2019年2月8日.

【研究会発表】

- 1) 近藤淳子, 塚田しげみ, 後藤早苗, 丹原 惇, 児玉泰光, 高木律男, 齋藤 功: 口唇裂・口蓋裂児に対する療育サポートミーティングにおける 歯科衛生士の集団的口腔衛生指導の取り組み. 第8回日本小児診療多職種研究会, 静岡, 2020年2月1日-2日.

【受賞】

- 1) 市川佳弥, 丹原 惇, 朝日藤寿一, 宮田昌幸, 親松 宏, 児玉泰光, 新美奏恵, 高木律男, 小林正治, 齋藤 功: 新潟大学医歯学総合病院においてPNAM治療を行った片側口唇口蓋裂患児における外鼻形態変化の短期的評価. 令和元年度日本口蓋裂学会 優秀論文賞, 2020年3月4日.
- 2) Osawa K, Nihara J, Nishiyama H, Takahashi K, Honda A, Atarashi C, Takagi R, Kobayashi T, Saito I: Classification of 3-dimensional mandibular deviation using cluster analysis in patients with mandibular

prognathism. Most Excellent Poster Award at “The 58th Congress of the Korean Association of Maxillofacial Plastic and Reconstructive Surgeons”, October 31st to November 2nd, 2019.

- 3) 網谷季莉子, 竹山雅規, 丹原 惇, 高橋功次朗, 大島康義, 小林正治, 齋藤 功: 性別、年代別にみた閉塞性睡眠時無呼吸と顎顔面形態、BMIとの関連性. 第78回日本矯正歯科学会学術大会優秀発表賞, 2019年11月20日-22日.
- 4) 長崎 司, 福井忠雄, 栗原加奈子, 坂上 馨, 深町直哉, 阿部 遼, 堀 一浩, 小野高裕, 齋藤 功: 舌圧と顎顔面筋群の筋活動同時測定による嚙下運動解析法の有用性. 第78回日本矯正歯科学会学術大会優秀発表賞, 2019年11月20日-22日.
- 5) 大澤知朗, 丹原 惇, 西山秀昌, 高橋功次朗, 本多綾子, 高木律男, 小林正治, 齋藤 功: 三次元CT画像を用いた骨格性下顎前突症患者における下顎骨偏位の様相について. 第29回日本顎変形症学会総会・学術大会優秀ポスター賞, 2019年6月8日-9日.
- 6) 丹原 惇, 西山秀昌, 秋葉陽介, 大内章嗣, 小野和宏 (キー・コース開発プロジェクトチーム): 学士課程教育における汎用的能力の育成とルーブリックを用いたパフォーマンス評価. 平成30年度新潟大学学長教育賞 2019年5月20日.

【その他】

- 1) Jun Nihara: Applying Numerical Simulation to Orthodontics with Niigata University. <https://www.synopsys.com/simpleware/news-and-events/simulation-orthodontics-niigata.html>, 17th September 2019.
- 2) 栗原加奈子: 成人前歯部開咬症の舌突出が嚙下時舌圧発現様相に与える影響. 新潟歯学会誌49(1): 33-34頁, 2019.

摂食嚙下リハビリテーション学分野

【著書】

- 1) 井上 誠: 嚙下. 基礎歯科生理学第7版(岩田幸一, 井上富雄, 船橋 誠, 加藤隆史編), 医歯薬出版株式会社, 東京, 400-412頁, 2020.
- 2) 井上 誠: 吸啜. 基礎歯科生理学第7版(岩田幸一, 井上富雄, 船橋 誠, 加藤隆史編), 医歯薬出版株式会社, 東京, 413-418頁, 2020.
- 3) 井上 誠: オーラルフレイル. 図とイラストだからわかるサルコペニア・フレイル, 遠藤直人編, クリ